ふれあいコラム

今、話題の人物をクローズアップ！

バックナンバー

２０１３年３月号　かわいいだけでなく存在感もあるピッコロがメインのコンサート

NHK交響楽団
フルート・ピッコロ奏者　菅原（すがわら）　潤（じゅん）さん

■プロフィール
1958年秋田県生まれ、国立音楽大学卒業。
フルートを畠山久雄、小野安広、斉藤匠、故中谷望、故木下芳丸の各氏に師事。82年、新星日本交響楽団に入団。90年、NHK交響楽団に入団。
ピッコロのスペシャリストとして活躍し、ソロ楽器としての魅力を広める。国立音楽大学、洗足学園音楽大学講師。

オーケストラの最高音域を担当するピッコロ。NHK交響楽団のフルート・ピッコロ奏者で、ピッコロのスペシャリストとしてソロ演奏もされる菅原潤さんに、楽器の魅力と3月17日に高輪区民センターで行われる『NHK交響楽団メンバーによる早春コンサート』について伺いました。

――ピッコロとはどんな楽器ですか。

フルートの半分ほどの大きさで、1オクターブ高い音域の木管楽器です。オーケストラでは、フルート奏者が持ち替えて演奏します。見た目も指使いも同じですが、内径の太さなど構造が少し違います。そのため吹き方に少しコツが必要ですが、それがわかると楽しい楽器です。

オーケストラでの役割は、小鳥のさえずりから雷の稲光まで。NHKホールで吹く時は最上階まで突き刺さるような音も出します。

――ピッコロと出会ったきっかけは？

スタートは、中学校の吹奏楽部のフルートです。学習雑誌の付録に、“誰でも吹ける横笛”がありました。プラモデル少年だった私はその唄口（空気を吹き込む細い口）を削って普通の横笛にして吹き、フルートに興味を持ちました。
本当は小学校からやっていた柔道部に入るはずで、先生も先輩もずっと待っていたようですが（笑）吹奏楽部に入ってしまいました。ただ、柔道の柔よく剛を制すとか、得意技を伸ばす発想は、演奏や人生の教えになっています。

音大に進学すると、まわりは英才教育を受けた秀才ばかり。取り残された気分でしたが、ピッコロを吹いたら褒めてくれる人がいて、これしかないなと。先生はN響のピッコロ奏者で、当時は、自分がその席に座るとは想像もできませんでしたね。

――ピッコロのソロやオーボエ曲の演奏など、さまざまな挑戦もされていますね。

ピッコロの曲というと、ヴィヴァルディのピッコロ協奏曲ぐらいしか思い浮かばないですよね。曲が少ないのですが、学生の頃、フランス人が出したピッコロのCDを見つけてカルチャーショックを受け、ソロ楽器としても演奏するようになりました。
オーボエのレパートリーを演奏するのは、世界でも他にやっている人がいませんが、楽器の構造や息の使い方が似ているので、吹けるとひらめきました。次のCDでは、トランペット曲も演奏しています。

――ピッコロでオーボエのようなゆったりした演奏ができるのは菅原さんだからこそですね。早春コンサートは、どのような構成ですか？

ピッコロづくしのマニアックなコンサートです。ピッコロコンチェルトは、4人の伴奏者でオーケストラ分を担当します。N響の弦楽器パートは世界でも超一流で、信頼のおけるプレーヤーなので、こうした挑戦も可能です。フルートも演奏しますし、総金製や白いピッコロなど珍しい楽器も使う予定です。

――最後にメッセージをお願いします。

ピッコロはポケットに入るかわいい楽器です。ぜひ、その音色を聞きに来てください。

はみだし情報

菅原潤さんのCDにはどれも、最後に「とっておきの曲」を収録。
たとえばアルバム『ピッコロ・ジャンクション』では、TVドラマ『優しい時間』の主題歌にも用いられたアンドレ・ギャニオンの「明日」。ピッコロの勉強をする方にもオススメです。

▲このページのトップへ

｜個人情報保護について [PDF]｜

Kissポート財団
(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)
港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぷらざ
電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884
お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp
Kissポート財団について

JQA-QMA12663
JQA-EM4580
10861140(03)

このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。
当財団の許可なく複製、転載は出来ません。